

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公開番号】特開2007-229648(P2007-229648A)

【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2006-55878(P2006-55878)

【国際特許分類】

B 05 C 11/08 (2006.01)

G 02 B 1/10 (2006.01)

【F I】

B 05 C 11/08

G 02 B 1/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月29日(2008.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スピンドル法にてレンズに塗布処理を施すスピンドル装置であって、上面に前記レンズを載置して垂直軸回りに回転する回転保持台と、前記回転保持台の周囲を覆うスピンドルカップと、前記レンズに塗布液を吐出する吐出部と、を備え、前記スピンドルカップの側壁に、回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液を回収する開口部が設けられ、

回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液の前記スピンドルカップ側壁への到達位置が前記開口部位置となるよう、前記スピンドルカップと前記回転保持台とを、前記レンズのレンズ面形状および前記レンズを回転させる際の回転数に基づき、前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動することを特徴とするレンズのスピンドル装置。

【請求項2】

請求項1に記載のレンズのスピンドル装置において、

前記スピンドル装置は、

前記回転保持台の垂直軸方向に沿って、前記開口部を挟んだ前記スピンドルカップ側壁の上下面にそれぞれ前記塗布液を検出する一対の検出センサを、さらに備え、

前記一対の検出センサが前記回転するレンズから振り切られた塗布液の付着を検出したとき、前記スピンドルカップと前記回転保持台とを前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動する位置補正が行われることを特徴とするレンズのスピンドル装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記した目的を達成するために、本発明のレンズのスピンドル装置は、スピンドル法にてレンズに塗布処理を施すスピンドル装置であって、上面に前記レンズを載置して

垂直軸回りに回転する回転保持台と、前記回転保持台の周囲を覆うスピニカップと、前記レンズに塗布液を吐出する吐出部と、を備え、前記スピニカップの側壁に、回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液を回収する開口部が設けられ、回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液の前記スピニカップ側壁への到達位置が前記開口部位置となるよう、前記スピニカップと前記回転保持台とを、前記レンズのレンズ面形状および前記レンズを回転させる際の回転数に基づき、前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明のレンズのスピニコート装置は、前記回転保持台の垂直軸方向に沿って、前記開口部を挟んだ前記スピニカップ側壁の上下面にそれぞれ前記塗布液を検出する一対の検出センサを、さらに備え、前記一対の検出センサが前記回転するレンズから振り切られた塗布液の付着を検出したとき、前記スピニカップと前記回転保持台とを前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動する位置補正が行われることが好ましい。